



第33回ざる研・小平「清川」報告



まずは新年を祝って「乾杯！！」

1. 日 時: 1月19日(火)13時、西武新宿線小平駅改札集合
2. 場 所: 小平市美園町1-4-11「清川そば小平駅前店」TEL042-341-0511 金曜休日
3. 参加者: 荒木、井垣、伊藤(順)、伊藤(徹)、大野、小川、国友、栗原、末次、滝沢、野村、堀田、早川、福田、山本、(15名)
4. 費 用: ¥45,100 @ ¥3,000 不足¥100は会貯留金より支出。
5. 経 過: 今回は新春初の集いとあって地元の蕎麦屋さんからにしたが、昨夜来の残雪で足元の悪さにもかかわらず多数の参加を得て賑々しいスタートとなった
今日になって初参加が決まった福田さん(48理工)は蕎麦の経験豊富で今後有力メンバーの期待が持てる。(写真上段左挨拶する福田さん)



今年一年ざる研が楽しく有意義な会であり続けることを願ってビールで乾杯、つまみは枝豆、お浸し、おかき、店内に濁り酒400円の張り出しがあるのを見て全員で注文、千葉成田山、冬季限定手作り「仁勇」本生にごり酒、受け皿付のコップ酒だった。





そば前の料理として串カツ、もつ煮込み、牛とじを頼み酒は冷やと燗酒にしたがいずれも甘口でパッとしている、銘柄は富山の銀盤と聞いたがこれしかないのでしょうがない。

本命の蕎麦は花小金井清川よりかなり落ちる、事前にどこのそば粉をどのように使っているのか聞いてみたが口を濁して答えてもらえなかつた理由がわかった気がした。



総じていい点数は付けられず、意気込んで来られた参加者には申し訳なかったが、翻って考えてみれば江戸中期から庶民の食事処となった「そばや」というものは気楽に入れて安く食べられれば良かったはずで、今でも大方のそばやはうどんもやれば(特に当店はこの地域の「糧うどん」)丂物もやるのが普通で、おばちゃんが頑張る姿はその普通を象徴するかのようだった。

解散後、当店の真上にあるカラオケバー「昴」にはカラオケ会長野村さん以下10名が参加して日暮れまでの時間を楽しんだ。

6.その他:来月のざる研は今まで行った店の中から今回の参加者に選んでもらうことになっていたが、特に今回紅一点の参加だった荒木さんに選択をお願いして**荻窪・「本むら庵」**に決定しました。

日時は2月15日(月)11時30分、JR荻窪駅西口改札集合です。

徒歩約10分ですが参加ご希望の方は2月12日(金)までに世話人 山本 浩、Tel042-473-7617へどうぞ